

越中一宮

<https://www.takase.or.jp>



技と気迫と美しき。

打つ人も打たれた人も、
裁く人も見守る人も、
皆、真剣——。



写真：令和4年奉納剣道大会より

十月・十一月の祭事

- 月次祭（毎月一日・十三日／一月は十三日・九月は一日のみ）
- 村祭り（十月一日）
- 神嘗奉祝祭（十月十七日）
- 明治節祭（十一月三日）
- 神明宮例祭（十一月十三日）
- 七五三祝祭（十一月十五日）
- 新嘗祭（十一月二十三日）



庄川弁財天御開扉大祭

宮司 藤井秀嗣

去る七月二十八日から三十日にかけて、三十三年に一度斎行される庄川弁財天社の御開扉大祭（通称・御開帳）を奉仕した。私の中では今年の二大行事のひとつであった。終了した現在、張りつめていた気持ちがすっかり緩んでしまった。二大行事のもう一つが迫っているので、やる気スイッチを入れなおしている。

大祭は氏子の皆さんを中心に沢山の方々の協力によって盛況裡に斎行することができた。心から感謝申し上げる次第である。三十三年という時の流れは人の記憶や記録というものを流してしまった。不明なことばかり。若干残されていた書類や写真、DVDなどを見ながら、どうにか開催にこぎつけた。その過程においては、各種トラブルも発生したが、関係者が一致団結してことにあたり、解決した。一生懸命取り組む姿に大神様も感応され、御力を貸してくれた。前号の社報に書いた通り、真榊の「勾玉」のような美しい氏子の「輪（和）」が作られたことは嬉しい限りであった。

御開扉大祭は御開帳ともいわれ、普段は拝見することの出来ない御神体を直に拝見してお参りできる特別な参拝行事である。それゆ

えに御神徳（俗にいうご利益）もたくさんいただけるといわれている。今回も御本殿前に長蛇の列ができていた。庄川総鎮護を冠するの神様で、生命に關わる「水」を司る大神様として古来より崇められてきた。この祭りも庄川流域に古くから広く認知されていたが、時代や世相の推移により様子も変化してきている。

そのような現状ではあるが、ありがたいことに今回も奉祝行事、獅子舞奉納の申し出がたくさんあった。昨今、担い手不足により止めてしまう地区が増えている中で十五地区（前回とほぼ同数）から申し出があったことは大変ありがたいことであった。

今夏は例年になく好天が続き、猛暑だった。期間中は毎日、熱中症アラートが発令され、救急車の出動要請を覚悟していたが、幸いなことにその心配は杞憂に終わった。

紋付羽織袴の宮総代を先頭に獅子舞の行列が入場。各地からの子供、汗だくであった。特に獅子舞の「口とり」の子供たちは大変で、猛暑の中、頭に毛頭を付けて金襴の厚手の袴をはいて舞っている姿は、見ているほうが倒れそう

になるくらいであった。苦行ともいえるべき、このお祭りをこの子たちはどのように感じたのだろうか。三十三年後、次の御開扉大祭の頃には、彼らは四十歳から五十歳頃で、祭りの中心的存在になっている。今回の経験は辛かったが、きつと良い思い出として受け止められているに違いない（と思いたい）。次の大祭も積極的に参加してくれよう願っています。そうしてくれると強く信じている。

最近自然災害が多発している。どこにいても危険からは完全に逃れられないし、絶対安全というところもない。人の力ではどうにもならないことは、昔からの風習に倣えばよい。出来ることは神様に祈ること。川の神様、水の神様に願いを捧げ御加護をいただくという古来の信仰を忘れないことだ。そのためのお祭りが、この御開扉大祭である。

今回、最終日のお祭りに新田八朗富山県知事が参列された。県土の農業に欠かすことのできない河川であり、氾濫すると多くの県民に被害が及ぶ県内有数の暴れ川「庄川」の治水を県知事が祈念するという首長のあるべき姿を拝見できたことはありがたいことであった。

弁財天社の大神様に関係者一同の祈りの姿をご覧いただいた。その祈りはきつと届いていて、この先も末永い御守護をいただけたと信じている。



夏越大祓
あわせて茅の輪神事斎行

水無月の夏越の祓えする人は千歳の命延ぶと言ふなり

毎年六月に行われる「夏越の大祓」は、暑い夏を元気に乗り切る為の、大切な年中行事です。

清めの雨となったこの日、お集まりの皆様は大祓詞を奏上し祓いを受けると、神職・巫女と共に茅の輪をくぐり、清らかな心身に立ち返りました。また、全国の崇敬者の皆様から届けられた人形も心を込めて祓い清め、神事を厳修しました。



例祭齋行

— 地域と世界の平穩を祈念して —

吹く風もいつしか秋の気配を運ぶ九月十三日、大神様の日々のご神恩への感謝と、皇室益々の弥栄、また世の末永い平和を祈り、例祭を齋行しました。

かねてより行われていた「御社殿屋根銅板葺替工事」も完了し、正遷座祭、奉幣祭をはじめとする関連祭事を間近に控えての祭典となった本年の例祭には、島根県の出雲大社より千家和比古権宮司様、県内神社の宮司様、また石岡敬夫責任役員、

岩倉保男高瀬区長他、多くの皆様のご参列を賜り、久しぶりに盛大且つ厳肅裡な齋行が叶いました。

ご参列人数の調整、祭典規模の縮小等、苦渋の調整が続いた三年間でしたが、このように本来の賑やかな祭事の姿が戻りましたことは、大神様の御恵みはもとより、氏子崇敬者をはじめご関係各位の、ご理解とご支援の賜物と、心より感謝を申し上げます。

神賑行事では、地元女声コーラスグループ「ソット・ヴォーチェ」の皆様による『越中一宮高瀬神社奉賛歌』の奉唱、また、功靈殿の例祭には「井波松風会」の皆様より、石川啄木作「ふるさとの山」、乃木希典作「神州」二曲の吟詠を奉納いただきました。



「越中一宮 高瀬神社奉賛歌」の奉唱



大神様のご参列をいただいた功靈殿例祭

世界情勢が不安定な今、この砺波地域から旅立たれた英霊と、開拓の功労者あわせて六、四〇〇余柱のご祭神に、地域の静穏と世界の平和を祈念して、玉串が捧げられました。

境内の木々には恵みの空模様となった六月三十日、末社「高瀬稻荷社」の例祭並びに商売繁盛祈願祭を齋行しました。

境内東側に、朱い鳥居と狛狐に守られて佇む高瀬稻荷社は、ご商売を営まれる方々の信仰も篤く、当日ご参列いただいた講員の皆様は、それぞれの事業の繁栄と業務の安全を胸に、新緑の大前に玉串を捧げました。

講員の皆様、またご家族従業員の皆様に、大神様のご加護がありますように！

高瀬稻荷社 例祭齋行



人形感謝祭齋行

思い出の人形にお別れを

真夏の陽射しに目の眩むような日となった七月十六日、懐かしい日々を共に過ごした人形たちに感謝の気持ちを伝え、清めの後にお焚き上げをする「人形感謝祭」を齋行しました。

祭典には思い出深い人形を持ち寄られた多くの皆様にご参列いただき、ご代表の方が供えた玉串に心を寄せて、永い時を今日まで一緒に過ごした人形たちに惜別と感謝の心を捧げました。「人形感謝祭」は、毎年七月にご奉仕しています。



県内外で幅広く活躍する人形作家と、草月流富山県支部秀抱会とが織りなす、創作人形といけばなの展覧会が、本年も華やかに開催されました。慣れ親しんだ人形とお別れは寂しいもの。ここにはそんな心を優しく癒してくれるひとときがあります。



安達 陽子

松本 昌子



川原 るみ

笹波 美恵



飛騨山静恵

中林 雅代

第23回 人形展 一期一会

いちごいちえ



南部 祥雲



中嶋外志男



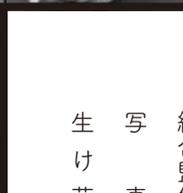
千代拍



笹川むもん



床 サユリ



あはたいと

谷口 知美



中山朱津子



五十里伊規子

開催期間 七月十五日～十七日
 会場 高瀬神社参集殿
 総合監修 梅崎親美
 写真 荒井恒雄
 生け花 草月流秀抱会



堀内 章代



本田 麗香

除熱祭齋行

七月二十三日

日、農作物が夏の暑さの被害を受けず、力強く育つよう祈念する「除熱祭」を斎行しました。



その日の夕刻には氏子の練り回しによる「熱送り太鼓」が繰り出し、五穀豊穡を祈る勇壮な響きが、田畑の辻々にひそむ災いを隈なく祓い遣りました。

岩倉区長による熱送り太鼓

献穀田だより



祝祭日には国旗を掲げましょう

七夕祭並びに 技芸上達祈願祭

— 願いをこめて短冊を —

七月七日。古くは「星祭り」とも呼ばれる五節句のひとつ七夕は、今も多くの人々に親しまれる伝統的な日本の風物詩です。

当神社の夏の催しとして定着しつつある「夏詣」も今年で五回目を数え、風にそよぐ涼やかな風鈴の音色や、社殿を飾るたくさんの方々の七夕短冊は、ご参拝の皆様が目にも、ひとときの清涼感をお届けしました。

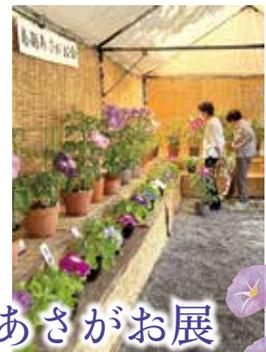


社会に学ぶ
「14歳の挑戦」

中学二年生、大活躍。

七月三日から七日にかけて、地元、南砺市立福野中学校の二年生四名の生徒さんは、職場体験学習「十四歳の挑戦」に参加、普段はあまり触れることのない神社のお務めに、ドキドキしながら慣れない巫女さん姿でチャレンジしてくれました。

竹ぼうきでの境内清掃や授与所奉仕、巫女さんから舞具の扱いを習ったり、また最終日には七夕祭に参列し、とても上手に神様に玉串を捧げることが出来ました。



大輪あさがお展

— 真夏の朝の風物詩 —

お参りの方々も、その可憐な佇まいに魅せられる「大輪あさがお展」が、今年も八月三日から六日にかけて開催されました。

この展示会を主催し、朝顔を出品した南砺あさがお会（森田光正会長）会員の皆様の丁寧なご案内に、ご来場の皆様も熱心に耳を傾け、育て方など興味深げに質問をされていました。



月次祭参列のご案内

当神社では、氏子崇敬者の皆様に月次祭参列のご案内をしています。ご希望の方は社務所までお問い合わせ下さい。

日時 毎月一日・十三日

午前十時（一月一日を除く）
九月十三日



第二十一回 庄川弁財天社 式年御開扉大祭

三十三年に一度の大祭 無事、終了。

真夏の陽射しに若鮎の影も眩い清流、一級河川「庄川」のほとりに鎮座する弁財天社（元雄神社）では、去る七月二十八日から三十日にかけて御開扉大祭を斎行しました。

この祭典は、帳からお姿を現されたご神体にお参りの皆様が直接祈りを捧げる、三十三年に一度



宮司はじめ神職、氏子の皆様一丸となつて、この古よりの神事を未来に繋がないでほしいと願っています。

の式年祭で、およそ七百年前から脈々と受け継がれてきた、「富山の祭り百選」にも選ばれた伝統の神事です。

社伝には、天正十三年にこの地域で起きた大地震により洪水が発生、その際奇跡的に氾濫をくい止めたこの土地に、時の加賀藩藩主前田利長公が弁財天を祀ったのが由来と記されています。



期間中、県内外より訪れた大勢の方々が長い列を成してご参拝され、最終日の慶賀祭には新田八朗富山県知事のご参列を賜りました。

前回の斎行は平成二年、そして今回は三十三年後！



連載 鎮守の杜 のすたるじい 第2回

鬱蒼とした社叢、

一の宮の絵葉書

福野糸瓜句会 梅島くにを

我が家には、祖父や父の代から蒐集されてきた五千枚以上の絵葉書が、段ボール箱いっぱいになりしまいい込まれており、私は整理に手間取った。

その昔、祖父が日露戦争から生還し理髪店を開業、旧満州国旅順に残留していた友人より届いた開店祝いの葉書。大正十二年、関東大震災の惨状を伝える写真葉書。後ろ向きの牽引列車が小矢部川の鉄橋を渡る旧加越線の風景葉書。それに、社叢



うす暗い当時の越中一宮高瀬神社の姿などが、アルバムの中に多数、遺産として収まる。

糸瓜句会は戦後早くから、正月の

初穂いののち、木造だった当時の社務所で句会を開いていた。囲炉裏で火の番をしていた氏子さんの笑顔が懐かしい。

いつの大雪だったか加越線が不通となり、室生砺川会長から句会用紙がドッサリ入ったリュックサックを担がされた新会員の私は、線路伝いに一人歩きして大人数の句会の為に社務所を目指した。昭和四十年に私は、当時の尾崎定業宮司揮毫の御宇「瑞気集門」の短冊を、最優秀句のご褒美にと授かった。

今となってはそれらすべてが、高瀬神社との良い思い出となっている。



梅島さん収集の貴重な絵葉書の数々（一部）
大正9年第1回国勢調査、明治43年第2回農作物産品評会の広告葉書なども。

七十七号より連載をスタートしたこのコラムでは、氏子崇敬者の皆様よりお寄せいただいた、高瀬神社にまつわるっておきの思い出ばなしをご紹介します。



七五三詣のご案内

お子様の健やかなご成長を祈って

かわいいお子様の成長を祝い、ご家族おそろいでお参り下さい。

期 間 10月1日(日)～11月30日(木)
 受付時間 午前9時～午後4時30分まで
 ご祈禱料 お1人につき5,000円より

7歳(女児) 平成29年生まれ
 5歳(男児) 平成31年生まれ
 令和元年
 3歳(男女) 令和3年生まれ (数え年)



かねてより実施しておりました「御社殿屋根銅板葺替工事」は、お陰様を以ちまして9月に竣工いたしました。
 当神社では、引き続きあたたかいご奉賛をお願い申し上げます。

【募金実施期間】令和5年12月末まで
 ◎詳しくは社務所までお問い合わせ下さい

御社殿屋根修復事業
 ご奉賛のお願い

注連縄奉納のご案内

高瀬神社注連縄奉納講では、毎年、新年に向けてご社殿の注連縄のかけ替えを実施しています。真新しい注連縄に祈りを込めて、清々しい新年をお迎え下さい。

- 一口 10,000円
- お申込み期限 令和5年10月31日
- ご奉賛者様のお名前・お願い事を記した紙を注連縄に綯い込み、ご神前に掲げます。
- お申込み・お問合せは社務所まで。
 電話 0763 (82) 0932

- 【百万円】 西田 吉輝
- 南砺市遺族会 田原政信
- 【五十万円】 神嶋 利夫
- 小矢部市遺族会
- 【二十万円】 南砺市遺族会 城端支部
- 植生 雅章
- 【十五万円】 山本 甚克
- 鈴木徹章工芸(株) 鈴木敬二
- 【十万円】 (有) 依田屋 田中弘紀
- (株) 晃和デイスプレイ
- 牧野 正秋
- 森田 昭子
- 森田 和子
- 柴田 康晴
- 【五万円】 (有) ソムリエ・ヨシオカ
- (株) エビスシマダ
- (株) 一千乃 中田 保
- レントオール 富山
- (株) 三宝社 辻 浩司
- 瀬戸 邦子
- 基蔵 正司
- いきいき富山観光物産(株)
- 松本 弘明

御社殿屋根修復事業奉賛者芳名
 令和五年六月一日～令和五年八月三十一日
 去る九月に無事、竣工を迎えた本事業に対し、左記の方々より赤誠あふれるご奉賛を賜りました。厚く御礼申し上げます。

- 【三万円】 惣万 洋輔
- (有) 西紀
- (株) 長谷川製作所
- 川端 雅申
- 小西 節子
- 堀田 庄信
- 小西 省三
- 【二万円】 (株) 神和
- 山本武夫歯科医院
- 【一万円】 (株) のむら 野村純一郎
- 松井 収
- (株) 民俗工芸
- 貴翔
- 小西 淳子
- 津田真由美
- (株) 晶
- (有) 破魔矢奉製所 野村政美
- (株) 三愛工芸
- 井上 恵資
- (有) チェンソーアート・ジャパン
- 前田 一
- 【八千円】 石田 直子
- 【六千円】 斉藤 悦子
- 【五千円】 (株) 石村 画材たんぼぼ
- 松本 桃子
- 馬瀬 伊依

- 【三千円】 余西 信一
- 内記 武志
- 野村 佳治
- 山東 三郎
- 黒田 圭正
- 日比野治生
- 小泉 由和
- 服部 洗志
- 太田美智子
- 蓑輪 洋子
- 伊古田 真
- 沖田 洋介
- 花里 信幸
- 花里 けい子
- 平田 敏代
- 林 大晴
- 前田 道弘
- 三山左代子
- 目谷 孝悦
- 宮本 泰輔
- 居田 晃
- 北村 実
- 大浦 惠久美
- 中嶋 実千代
- 加藤 美知子
- 加藤 真夫
- 大西 静枝
- 大西 健二
- 中谷 由香
- 中川 雅資
- 徳岡達雄
- ともえや
- 宅田 泰久
- 森井美智子
- 広川 長明





大国さまの処方せん ⑩

「自分の強み、弱みを意識した健康のマイルールを作りましょう」

南砺市民病院

内科副部長

総合診療科副部長

大浦 誠

皆さんは好きなことや趣味、特技はありますか？運動や旅行、読書や映画が好きなど色々ありますよね。一方で、苦手なことや、嫌いなことはありますか？苦手な人、もの、状況など色々あるでしょう。実はこれらが健康の鍵を握っています。

例えば、「健康のためには何かを食べましよう」、「何かを控えましよう」、「運動をしましょう」などという提案をされたとします。ひょっとするとそのルールが厳しすぎて実行できずに反省してしまいかもれません。

そこで、「自分の好きなこと、嫌いなこと」が自分に合った健康法のヒントになります。例えば、「甘い物を健康のために我慢するよう」と言われたとします。もし体を動かすことが好きならば、「運動を頑張ったら美味しいものを少しだけ食べても良い」というルールにすれば続けるかもしれません。また、みんなでおしゃべりすることが好きだとしたら、「大勢で集まったときだけ甘い物を分けて食べる」、あるいは「おしゃべりに集中している間は食わずに、食べるときは静かに食

べる」など自分の好みに合うルールにすると、無理なく続くかもしれせん。自分の強みを活かしたルールを考えると主体的になり長続きします。是非楽しい健康のマイルールを考えてみてください。

大浦 誠 先生

南砺市民病院

内科副部長

総合診療科副部長

福井医科大学（現福井大学）卒業。

患者の困りごとを診療科に関わらず総合的に診る専門家である、家庭医療専門医を取得し、長年南砺市の医療に貢献できるよう日々診療にあたっています。

医薬医療の神として知られる大国主大神（大国さま）のご神徳にちなんだこのコラムは、毎回、専門家の方にご寄稿いただき、読者の皆様の生活に役立つ医療知識などを発信いたします。

ご祈禱のご案内

高瀬神社のご祭神は福の神、縁結び・医薬医療の神として全国より広く崇敬を集める大国主大神（大国さま）です。

当社では、交通安全（車のお祓い）・家内安全・良縁成就（縁結び）・心身健全・厄除け・病氣平癒他のご祈禱を、心を込めて毎日ご奉仕しています。お気軽に社務所までお問い合わせ下さい。

ご祈禱料 1件につき5,000円以上召し
高瀬神社社務所 0763 (82) 0932

安産祈願 戌の日カレンダー

令和5年 10月 7日・19日・31日
11月 12日・24日
12月 6日・18日・30日

令和6年 1月 11日・23日
2月 4日・16日・28日
3月 11日・23日

腹帯のお祓いも行いますので、どうぞご持参下さい。

社報バックナンバーのご案内

当社社のホームページにてバックナンバーをご覧いただけます。祭典の由緒や行事の沿革など、過去の記事もご参考にさせていただきます。

<https://www.takase.or.jp>

令和6年 厄年・身祝一覧

	前 厄	本 厄	後 厄
男	24歳 平成13年(巳)	25歳 平成12年(辰)	26歳 平成11年(卯)
	41歳 昭和59年(子)	42歳 昭和58年(亥)	43歳 昭和57年(戌)
	*60歳 昭和40年(巳)	*61歳 昭和39年(辰)	*62歳 昭和38年(卯)
女	18歳 平成19年(亥)	19歳 平成18年(戌)	20歳 平成17年(酉)
	32歳 平成5年(酉)	33歳 平成4年(申)	34歳 平成3年(未)
	*36歳 昭和64年・平成元年(巳)	*37歳 昭和63年(辰)	*38歳 昭和62年(卯)

※数え年とは、満年齢に誕生日前には2歳、誕生日後には1歳を加えた年齢です。
*…この年を厄とする地域もあります。

	年齢	生まれ年	
〈身祝〉 数え年	還暦	61歳	昭和39年(辰)
	古希	70歳	昭和30年(未)
	喜寿	77歳	昭和23年(子)
	傘寿	80歳	昭和20年(酉)
	米寿	88歳	昭和12年(丑)
	卒寿	90歳	昭和10年(亥)
	白寿	99歳	大正15年・昭和元年(寅)

※男女ともに祝います。

令和六年 初詣献灯のご案内

高瀬神社では、初詣期間の正参道を飾る提灯の奉納をご案内しています。大神様の更なるご加護と、来たる新年が尚一層輝かしい一年となりますよう祈りを捧げ、奉納願います。

※記載芳名
例(約八文字)

- 一、献灯期間 正月七日まで
- 二、献灯料 一基二万円
- 一、申込期限 十一月三十日
- お申込みの方の案内安全・商売繁盛他の祈願祭をご奉仕致します。
- 詳しくは社務所までお問い合わせ下さい。

- 一、会社
南砺市 ㈱高瀬
高瀬産業株式会社
- 二、個人
高瀬 高瀬太郎
高瀬 太郎



ご奉納御礼

【御社殿御簾一式】
責任役員 石岡 敬夫殿



責任役員の石岡敬夫様には、御社殿屋根銅板葺替工事の竣功にあわせて、祝詞殿・幣殿の御簾をご奉納、新調していただきました。誌上より厚く御礼申し上げます。

お知らせ

「御社殿屋根銅板葺替工事竣功」及びその関連祭事の詳細につきましては、臨時号にてご報告致します。

令和六年 新年初祈禱のご案内

「一年の計は元旦にあり」。高瀬神社は、福の神として広く崇敬をあつめる大國主大神(大國さま)をお祀りしています。来たる新年が輝かしく、実りの多い一年となりますよう、心を込めて「新年初祈禱」をご奉仕いたします。



◎特設祈禱受付入口よりお進み下さい。



期間 元日より節分の頃迄にご参拝下さい
受付 午前九時から午後四時三〇分迄
※元日は午前零時から午後六時頃迄
ご祈禱料 一件につき五〇〇〇円より



©「高生に龍虎図」/谷口智則

谷口智則展 閉幕。

7月1日から9日にかけて、当神社にて開催された「谷口智則展」は、400名以上のご来館をいただき、盛況のうちに会期を終えることができました。会場に足をお運びいただいた皆様に厚く御礼を申し上げます。



「14歳の挑戦」に参加中の生徒さんも見学

【辞令】

採用 大島 未鈴
巫女見習を命ずる
令和五年七月二十日

表紙写真

奉納剣道大会のひとつ。高瀬神社の剣道大会は、毎年九月に開催しています。

編集後記

今年の夏は暑かった。地球温暖化最大の原因と言われる温室効果ガスの増加、これを抑制する為に

は植物の光合成が不可欠とされている。緑の恵みが減少の一途をたどる今、あらためて「鎮守の杜」の偉大さを思い知る。(智)



新参集殿10周年

これからも新たな夫婦の幸福のために。



発行日 令和五年十月一日

発行所 越中一宮 高瀬神社社務所

〒932-0252 富山県南砺市高瀬291

TEL0763-8210933 FAX0763-8213304

印刷所 牧印刷株式会社



高瀬神社LINE

あなたの人生に、神社がある。越中一宮高瀬神社

〒932-0252 富山県南砺市高瀬291
ご予約はTEL0763-82-1131

高瀬神社

検索



高瀬神社HP